

平成 2 6 年 度 第 1 回

八王子市スポーツ推進審議会会議録

日 時 平成 2 6 年 7 月 2 9 日 (水) 午後 7 時
場 所 市民体育館 第 2 ・ 3 会議室

第1回スポーツ推進審議会日程

1 日 時 平成26年7月30日(水) 午後7時

2 場 所 市民体育館 第2・3会議室

3 議 題

(1) 体育館の予約受付について

4 報告事項

(1) 総合体育館の開館について

(2) 市民体育館の大規模改修について

(3) 富士森運動公園のテニスコート改修工事について

(4) 総合型地域スポーツクラブについて

(5) ジュニア育成について

5 その他

6 閉 会

八王子市スポーツ推進審議会委員

市内スポーツ関係	平岡孝子
	澤本則男
	立川富美代
	塩澤迪夫
	藤木寿勝
	前原教久
	姥貝荘一
障害者スポーツ関係	前田康博
学校体育関係	神成真一
	斎藤秀昭
学識経験	浪越一喜
	梅澤秋久
公募	林廣子
	糸田孝子
関係行政機関	天野克己
事務局	立川寛之
	橋本徹
	染谷勇
	佐藤久幸
	野村泰史
	古川元三

【午後7時00分開会】

○浪越会長 ただいまから、平成26年度第1回の八王子市スポーツ推進審議会を開会いたします。

ただいまの出席委員数は、13名となっております。斎藤委員からは、遅参の連絡がありました。

条例第5条第2項の規定による定足数には達しておりますので、本審議会は有効に成立しております。

本日の進行は、お手元に配付の進行表のとおりです。

それでは、議題に入ります。(1) 体育館の予約受付について

事務局から説明願います。

○事務局 新体育館の予約受付についてだが、その前に経緯を説明します。平成20年に新体育館整備基本方針・基本計画を策定した際に、全国大会もできる体育館の予約の受付時期を議論し、一定の基準を作った。全国大会等、一定の要件を満たす大会（以下、全国大会等という）については、3年前から予約可能であり、市内団体による大会については従来どおり、前年度に行う日程調整会議で予約を調整する。複数館あるいは数日にわたり大会を実施している場合は、新体育館を使った方が、市民体育館が有効に使えるので新体育館を使ってもらうという基準を設けた。

具体的には、別紙1の左下にある3年前予約受付についてだが、メイン・サブの両方のアリーナを使う大会、日体協・都体協に加盟する団体が主催する大会や中体連・高体連の大会は大規模であることが想定されるので3年間前から予約を受け付ける。また、市民体育館の客席が504なので、常に504人を超える観客がいる大会についてもそうである。

スポーツイベントについては、大会より要件を厳しくしている。観客数は常に700人を超えると認められるもの、また2000㎡以上のフィールドを必要とするものについて、3年前の予約を認めるということである。

なぜ3年前かというと、全国大会は3年前に決まらないと、準備ができないというので3年前とした。

2番の問題点だが、ここで新体育館のインターネットによる受付を始めたが、色々な大会を開催したいという話が多数寄せられている。今の基準により予約を入れてしまうと、市民の大会が押し出されてしまう。市民のための体育館が大前提なので、これでは本末転倒である。急浮上した問題点である。

そこで、これまでの基準を見直して、市民の大会については、全国大会等の予約受付開始に先駆けて、4年前に予約を受け付けたい。これが議題の趣旨である。

市民体育館の改修もあるので、26年度・27年度については受付済で、27年の最終調整

中であるが、この秋に28・29・30と3カ年分の予約を受けようと考えている。以降は例えば、27年秋には31年度分、28年秋には32年度分という形で日程調整会議を行いたい。これは新たな団体についてであり、今の日程調整会議に出ている団体については先に取ってしまうが、新たに予約を入れたいという団体のために、来年からも、新体育館の事業者を含め、日程調整会議を進めたい。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

新体育館の予約受付について、全国大会等については、3年前から予約が可能になっているが、この方法だと市内団体が利用できなくなる恐れがある。4年前に市内団体の利用日程を決め、その後で3年前から全国大会等の予約を受け付ける、とのことでした。これについて、ご意見・ご質問等はございませんか。

○委員 大体賛成だが、「市民体育大会の期間は」というような決め方も可能かと思う。

○事務局 市民体育大会、長く続いている大会には期間、会場の指定席化を考えたい。日程調整会議もいらなくなる。余ったところに新しい大会を入れて行くという考え方である。3館とも指定席化したい。上部団体に日程変更があったら、調整に入る。そういう形を想定している。

○委員 それでよいと思う。

○事務局 これからたたき台を作り、各団体に示したい。意見を聞き、丸くおさまった段階で指定席化を図りたい。

○浪越会長 ほかにいかがでしょうか。

○委員 市民以外の団体の反応をどう想定しているか。反対サイドからの苦情をどう考えるか。

○事務局 止むを得ない。あくまで市民優先のものであるから。他市には市外料金の設定の例もある。それで済むのなら、市外料金も視野に入れ使い方を考えていくべきだが、市民の大会でいっぱいになるのなら、それは止むを得ないと考える。

○委員 新しい体育館の売りの一つは大規模な大会の開催、「観るスポーツ」の機会の提供でもある。兼ね合いは。

○事務局 突き詰めればの話である。あの規模の体育館が必要なほどの市民大会は少ないと思う。市民体育大会は改修後の市民体育館に戻ってもらうのが、原則である。現在、市民体育館、サブ体育館の両方を使って開催している大会も、新体育館を使うことにより、効率化が図れ、1日で終われるようになるなら、新体育館での開催となる。バドミントン、卓球、剣道、柔道、バレーボールなどが候補である。市民の大会で新体育館の予約がいっぱいになることはないと考えている。

○委員 オリピック会場の打診はあるか。

○事務局 三多摩地区に対して競技会場の打診はない。味の素スタジアム・武蔵野の森はもとの会場であるので、それ以外にはない。

○委員 この11月に、関東中学校駅伝大会が上柚木陸上競技場を中心に八王子市で開催できることとなり、感謝している。体育館については、大田区・江戸川区の体育館を使っている。八王子市の体育館も使うことになるかもしれないので、よろしく願いたい。

○事務局 中体連の場合、日程を長期休み中の平日にすれば、いくらでも取れる。事業者側で教室を入れることもあるので、早めに連絡を入れてもらえれば大丈夫である。

○委員 基本的には、事務局案でよい。市民体育館の休館期間を調整できれば、問題ないと思う。土日の大きな大会を調整できれば、平日どう使ってもらうかの方が課題になると思う。体協さえうまく行けば問題ないと思う。

○委員 狭間の体育館は、同じような体育館をもう一つということで要請を始めたが、大規模大会を開催できる体育館という形で実現した。体協の大きな大会が新体育館に行けば、市民体育館に空きができる。体協としては、この案でよいと思う。

○委員 基本的にはよいと思うが、せっかくの大規模施設なので国レベル、都レベルの大会に来てもらいたい。その点を我々も若干考えなければならない。小さい団体まで新体育館が使えると考えているようなので、利用のルールを作っていかなければいけないと思う。

○委員 大会規模に応じた体育館の使い方をしてもらえれば済む話である。

○事務局 その考え方で新体育館の基本方針を定めている。3館の器の大きさを変えているので、器に応じた使い方をしてもらいたい。観客数・大会のランクなどで早く予約できるとい

う基準を定めてきた。一番難しいのが全国大会の質、ランクの問題である。無制限に認めると市民優先が崩れてしまう。体協・レク協加盟団体なら、会長に相談して決められる。非加盟団体で全国大会と銘打つのは空道・テコンドー・卓球で参加者も多い。どう扱うべきかご意見をいただきたい。

○浪越会長 体協に加盟していない団体が全国大会と銘打った場合の基準など、どう扱えばよいでしょうか。

○委員 体協加盟の人数的に小さい団体はありますか。

○委員 団体の人数規模というより、そのスポーツの広がり具合である。ライフル射撃連盟とかは少ない。弓道やなぎなたなど、人数は少ないが日本のメジャースポーツとして根付いている。なぎなたについては、全国大会の話が入って来ている。

○委員 二つの要件を課したらどうか。たとえば、体協加盟かつ観客が504人を超えるとか。

○事務局 体協加盟団体に限るといって、他団体から相当の反発が予想される。先ほどの「指定席」に関する資料を添付して、もう1度審議会にかけたい。基準が設けられれば準備しますが、委員の皆さんにも考えておいていただきたい。

○委員 3年前予約受付開始の「(2)次に掲げる大会」については、どれかひとつに該当すればよいのですね。体協加盟の都大会レベル以上で大人数なら、問題ないですか。

○事務局 そこで同じ問題が出てくる。都大会といっても様々ある。中体連・高体連とあるのは、両団体の都大会は確実にちゃんとした規模の大会であるので絞り込んである。

○委員 体育協会で表彰する時は、審査している。同じように個々に判断したらどうか。

○事務局 毎年日程調整会議を開いているので、委員の皆さんに相談させてもらえればと考えている。

○委員 他市の例だが、申告人数に疑問があるときは調べて、問題があれば以後その団体の使用を認めないとすれば、偽りの申告は少なくなるという話を聞いている。

○事務局 次の審議会ですたき台を示したい。そこに大会規模に応じて振り分けたものを入

りたい。担当者が変わった場合も、細かい申し送りをしなくても済むような案を示したい。

○委員 新体育館にはどんなところから、大会等の使用申し込みがありますか。

○事務局 指定管理者なので事業者とのつながりで入って来るものと、体育団体とのつながりで入って来るものがある。大きな体育館になれば規模に応じた大会が入って来る。ルートは一つでなく、いろいろ来る。プロからもある。

○浪越会長 事務局からの提案を期待しています。

○浪越会長 次に、進行表3の報告事項に移ります。(1)の総合体育館の開館について及び(2)の市民体育館の大規模改修について、併せて事務局から報告願います。

○事務局 (1)の総合体育館の開館についてですが、順調に工事は進んでおり、9月28日にオープニングセレモニー、内覧会を兼ねたイベントを計画している。改めてご案内申し上げます。その前に、スポーツ推進審議会委員の皆さんには現場をご覧いただきたいと考えています。

(2)の市民体育館の大規模改修について、設計はほとんど変わらない。エレベータの新設と空調設備の設置、この二つが大きな点で、部屋の配置などの変更はほとんどない。閉館中の利用がどうなるかが、一番興味のあるところかと思うが、平成27年2月1日から平成28年2月15日まで閉館する。その間、一般開放事業は新体育館で行う。第2・3・4競技場については、新体育館の多目的室を代わりに使ってもらう。レク室の代わりに新体育館の会議室、多目的室を使ってもらおうと考えている。分館競技場は、改修工事を行わないので今まで通り使用することができる。

資料の図面をご覧ください。色を塗ったところが変更のあったところである。地下1階ではトレーニング室が若干広くなる。シャワー室とか使われていないところをトレーニング室に改修する。1階では、自販機コーナーにエレベータが付く。応接室の隣に赤ちゃんフラットが付く。隣接する倉庫2は、会議室の机をそこに納め、会議室を会議以外にも使うためのものである。

○浪越会長 ご質問があれば、お願いします。

○委員 あかちゃんフラットとはどういうものか。

○事務局 授乳室兼休憩室のようなものである。赤ちゃんを連れた方がふらっと入って、赤ちゃんの面倒を見るスペースである。

○委員 トレーニング室はどう変わったのか。

○事務局 第3・4トレーニング室に現在使っていないシャワー室がある。修繕できないサウナ室があったり、ロッカーなど置いている。いわゆる死にスペースがあるが、それを使ってトレーニング室を拡大するということである。

○委員 それなら、地下2階が使えると思うが。

○事務局 一部を防災倉庫に転用するが、基本的には機械室とか、ボイラー室なので、余り変わらない。

○委員 スペースがあるので競技に使えるのではないかと、という話があった筈であるが。

○事務局 ボイラーとか機械室なので、余計な物を置けない、空けておかなければいけないという消防法とのからみ一つと、それなりのスペースはあるが、窓はないし換気の問題もあるので、競技には不向きである。

○委員 地下1階の第1指導員室とは何に使っているのか。

○事務局 一般開放をお願いしているバドミントンとかの指導員とか、体育館を利用する人が色々な作業に使うこともある。

○浪越会長 次に、(3)の富士森運動公園のテニスコート改修工事について、説明願います。

○事務局 現在5面あるが老朽化が激しく、改修してほしいとの市民の声がある。26年度に改修の設計をし、27年度に改修工事を行う。富士森のテニスコートは非常に人気が高いため、1面増やし6面にして市民サービスの向上を図りたい。詳細が決まれば報告します。

○浪越会長 ご質問があれば、お願いします。

○委員 いつ頃終わる予定か。

○事務局 設計の契約をしたところであるが、できるだけ早く工事に着手し、リニューアルオープンしたい。

○委員 話が戻るが、体育館の大改修につき、業者の見通しはつくか。

○事務局 今日会議があり、これから入札にかける。総合評価型の競争入札となる。

○委員 落札者が出そうか。

○事務局 数年来、全国的に契約不調が出ているが、契約担当所管が事務作業を進めている。

○浪越会長 続いて、(4)の総合型地域スポーツクラブについて、説明願います。

○事務局 それでは、総合型地域スポーツクラブについて説明させていただきますので、資料をご覧ください。

今年3月14日に「総合型地域スポーツクラブ意見交換会」を開催し、議題の中で連絡組織の設立について協議したところ、総合型クラブ間の情報交換や連携の必要性から設立する方向で確認しました。

先週、7月24日に、この意見交換会を開催し、その議題の中で事務局からこの組織図をたたき台として、説明し、議論しましたが、クラブによりかなり考え方の温度差があり、組織化については、まだ早いという結論になりました。

当面は、意見交換会のスパンを短く開催し、その席で情報交換や連携を進めていきたいとなりました。その中で、組織も検討して行きます。

なお、総合型地域スポーツクラブの設立状況については、現在19団体ですが、3団体より設立の意向があり検討を始めています。

説明は、以上です。

○浪越会長 ご質問があれば、お願いします。

○委員 補助金は出ているか。

○事務局 設立の補助金はない。運営費についてもない。地区運動会と施設面で補修等あれば、それに補助金を組んでいる。

- 委員 総合型地域スポーツクラブは、住所と違うブロックのものに入れるか。
- 事務局 ひとつの目安として、中学校区とかでブロックを作った経緯はあるが、ほかのブロックのクラブに入ることは可能である。ブロックも必要に応じて作られて行くと考えている。
- 委員 新しい発想で地域スポーツクラブを作ったところと、体力づくりが母体のところがあるのは良いが、自分たちのスポーツクラブになぜよその人が来るのだという考えがあると、入っていけなくなる。この点を徹底してほしい。
- 事務局 八体連を参考にブロックを示したが、19団体ある中でブロック単位で活動しているところはほとんどない。そもそもブロックが必要かどうかという視点から、改めて意見交換したいと考えている。
- 委員 19団体の中でも、温度差はある。考え方というより、体力づくりからの移行がスムーズに行ったところと、行かなかったところとの違いかもしれない。とりあえずは連絡会的なものにし、よそのクラブの情報を参考に1歩ずつでも進めて行こうということで、協議会化はしないという話だった。ブロック化だが、八体連のイメージの残った人が多いと難しく思える。総合型がうまく立ち上がらなかったことが検証されておらず、温度差もあるので、連絡会的なものはやってほしいが、現状で組織化は難しいと思える。
- 委員 各クラブが特色を出してやって行けばよいと思う。
- 委員 体力づくりからの頭の切り替えを行政側で促してほしい。
- 委員 体力づくりでは子どもはだめだが、総合型は子どもを入れるという矛盾がある。行政の都合でこうなったが、地域ごとのやり方があるのではないか。自分たちが使いやすいように運営するのがよい。
- 委員 スポーツクラブという名前に惑わされている人がいる。有名選手を出すことなく、自分たちの健康のため、子どもたちの使える場所の提供のためにやっている。
- 委員 行政に感謝している点はある。総合型スポーツクラブが学校施設の貸出の管理もできている。意見交換会のスパンを短くすればよい方向に向かうのではないか。
- 委員 体力づくりが基本にある。名前が変わっただけではうまくいかない点もある。

○浪越会長 有効な情報を交換できる場を、前向きに検討していただきたい。

○浪越会長 次に、(5) のジュニア育成について、説明願います。

○事務局 それでは、ジュニア育成について説明させていただきます。資料をご覧ください。

まず、事業内容についてですが、これまでも東京都市長会の多摩島しょスポーツ振興事業200万円の助成金を活用して、ミズノ(株)に委託するかたちで平成24年度はバレーボール・卓球、25年度はサッカー・走り方教室を開催してきましたが、平成26年度はスポーツ推進計画に基づき、例年実施している多摩島しょスポーツ振興事業助成金を活用した講習に加え、新たに財政所管から措置された予算200万円で新たに連続講座を実施する予定であります。

この事業の目的ですが、一つ目に、子どもたちがスポーツに触れるきっかけづくりであります。二つ目に、間近で行われるハイレベルなデモンストレーションを目にすることで、子どもたちが刺激を受け、これからも競技を継続していくというモチベーションのアップであります。実施スケジュールは表のとおりでございますが、11月9日(日)は、例年実施しております多摩島しょスポーツ振興事業助成金を活用した講座を開催します。11月23日(日)から翌年1月11日(日)まで実施する講座につきましては、今年度、新たに実施する講座になります。

また、財源確保についてですが、青少年体育奨励基金条例を改正し、ハード事業だけでなくジュニア育成をはじめソフト事業に充てられる「スポーツ推進基金」を創設するとともに、寄付金以外の収入を効果的に基金として積立てられるよう制度改正を実施しております。

説明は以上です。

○浪越会長 ご質問があれば、お願いします。

○委員 ヘキサスロンとは。

○事務局 子どものスポーツテストと遊びを兼ね合わせたプログラムになっている。エアロケット投げとか、エアディスク、ソフトハンマー投げなどの6種目を、体力テストと遊びを兼ね合わせて行うプログラムである。

○事務局 単なる体力テストだけだと、子どもの興味が続かないので、遊びの要素を入れている。新体育館のオープニングの時も、隣の広場を使ってやることになっている。

○委員 ジュニア育成はある程度レベルの高い子どもの育成か、普通の子どもを含めたとらえ方なのか。

○事務局 本当のトップアスリートの養成は、国とか東京都レベルで行うもので、市町村レベルでは、部活動でやっているものは補助の対象にするが、運動自体の楽しさを知ってもらうとか、トップアスリートのプレーを間近に見てモチベーションアップにつなげるという子どもも広く対象にするものです。

○委員 コニカミノルタやJ R東日本とかの有名コーチを招いて、小学校でランニング教室を開いて来た。地域スポーツクラブでやろうとしてきたことではないかと思うが。

○事務局 クラブの独自事業は各地域にあると思うが、市主催の事業なので種目もまんべんなく、広く周知して子どもを集めて行くものなので、ジュニア育成という目的では合致するが、それを当て込んでいくことはない。はちきたSCに委託しているが、今年中を実験的なものにし、来年八王子モデルを示したい。その過程と考えていただきたい。

○浪越会長 その他で何かあれば、お願いします。

○委員 プロスポーツイベントについて発表できることがあれば聞きたい。

○事務局 市民体育館が改修に入るまでの期間、できるだけプロの試合を入りたい。10月11・12・13日にプロバスケットボールのbjリーグが、12月の頭に女子バスケットのプロの試合が入っている。暫くの間はバスケット中心だが、色々な競技に広げてゆきたい。

○浪越会長 以上で本日の案件は全て終了しました。

○浪越会長 それでは、次回の審議会についてですが、日程は事務局と調整し、皆様には後日通知いたします。

以上で、本日のスポーツ推進審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

【午後8時45分閉会】

上記会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市スポーツ推進審議会会長

八王子市スポーツ推進審議会委員